

大阪都市圏における吹田市の位置づけ

(総合計画審議会資料)

大阪都市圏における吹田市の位置づけ

1 吹田市の概要

(1) 位置、地勢

本市は、大阪府北部の北摂地域に位置し、大阪都心部からは10～15kmの圏域にある。南は大阪市、西は豊中市、北は箕面市、東は茨木市及び摂津市に接しており、東西6.4km、南北9.6km、面積36.11km²を擁している。

地勢としては、北部は北摂山系を背景として標高20mから117mのなだらかな千里丘陵、南部は安威川、神崎川や淀川のつくる標高10mほどの沖積低地から形成されている。

(2) 広域的交通条件

市域には名神高速道路、中国自動車道、近畿自動車道が結節する吹田インターチェンジやジャンクションがあり、JR新大阪駅や大阪国際空港にも近いなど、国土軸交通幹線へのアクセスに便利な交通条件を備えている。

さらに大阪都心部から放射方向にJR東海道本線、地下鉄御堂筋線、北大阪急行電鉄、阪急千里線、阪急京都線、環状方向に大阪モノレールが整備されているなど、鉄道による交通条件も非常に便利な状況にある。

2 人口

(1) 人口

大阪府の人口は、平成2年から平成12年まで増加しているが、その増加の幅は減少している（表1）。大阪市役所を中心とする半径50km圏を設定して人口の動向をみると、表2・表3のとおりであり、半径10km圏域では昭和50年以降一貫して人口が減少している。また、平成2年から7年には半径20kmの範囲まで人口減少が広がっており、人口増加地域が郊外へと広がっているものと考えられる。この20km圏域に含まれている都市が人口減少傾向の中で、本市の人口は増加している。

表1 大阪府の市町村別人口

市町村	人口の総数(人)				市町村	人口の増減数(人)				市町村	人口の増減率(%)			
	平成12年		平成7年			平成7 ～12年		平成2 ～7年			平成7 ～12年		平成2 ～7年	
	順位	(2000年)	(1995年)	順位		順位	(1995～ 00年)	(1990 ～95年)	順位		順位	(1995～ 00年)	(1990 ～95年)	順位
大阪市	1	2,598,774	2,602,421	1	和泉市	1	15,674	11,173	2	太子町	1	10.2	19.2	2
堺市	2	792,018	802,993	2	泉大津市	2	6,249	1,807	22	和泉市	2	10.0	7.6	7
東大阪市	3	515,094	517,232	3	岸和田市	3	5,286	6,255	6	泉大津市	3	9.1	2.7	19
枚方市	4	402,563	400,144	4	吹田市	4	5,169	△ 2,446	41	河南町	4	9.0	9.1	6
豊中市	5	391,726	398,908	5	富田林市	5	4,868	11,243	1	田尻町	5	8.0	△ 3.9	44
高槻市	6	357,438	362,270	6	交野市	6	4,515	7,096	5	交野市	6	6.2	10.9	4
吹田市	7	347,929	342,760	7	河内長野市	7	3,926	8,315	4	熊取町	7	5.1	5.0	12
八尾市	8	274,777	276,664	8	貝塚市	8	3,870	5,419	8	阪南市	8	4.6	2.9	17
茨木市	9	260,648	258,233	10	泉佐野市	9	3,481	3,717	11	貝塚市	9	4.6	6.8	10
寝屋川市	10	250,806	258,443	9	阪南市	10	2,568	1,552	24	富田林市	10	4.0	10.2	5
岸和田市	11	200,104	194,818	11	泉南市	11	2,464	1,623	23	泉南市	11	4.0	2.7	18
和泉市	12	172,974	157,300	13	枚方市	12	2,419	9,356	3	泉佐野市	12	3.8	4.2	15
守口市	13	152,298	157,306	12	茨木市	13	2,415	4,155	9	河内長野市	13	3.4	7.6	8
門真市	14	135,648	140,506	14	熊取町	14	2,064	1,945	20	岸和田市	14	2.7	3.3	16
松原市	15	132,562	134,457	15	羽曳野市	15	1,511	2,686	16	四條畷市	15	2.6	7.5	9
大東市	16	128,917	128,838	16	河南町	16	1,428	1,325	25	忠岡町	16	2.4	△ 2.7	41
富田林市	17	126,558	121,690	18	四條畷市	17	1,373	3,728	10	能勢町	17	2.2	27.9	1
箕面市	18	124,898	127,542	17	太子町	18	1,318	2,070	19	吹田市	18	1.5	△ 0.7	35
河内長野市	19	121,008	117,082	20	田尻町	19	500	△ 255	33	羽曳野市	19	1.3	2.3	21
羽曳野市	20	119,246	117,735	19	忠岡町	20	411	△ 468	34	茨木市	20	0.9	1.6	23
池田市	21	101,516	104,293	21	能勢町	21	310	3,026	14	美原町	21	0.6	0.7	27
泉佐野市	22	96,064	92,583	22	美原町	22	227	257	28	枚方市	22	0.6	2.4	20
貝塚市	23	88,523	84,653	24	大東市	23	79	2,378	18	大東市	23	0.1	1.9	22
摂津市	24	85,065	87,330	23	藤井寺市	24	△ 182	1,066	26	大阪市	24	△ 0.1	△ 0.8	36
柏原市	25	79,227	80,303	25	島本町	25	△ 214	368	27	藤井寺市	25	△ 0.3	1.6	24
交野市	26	76,919	72,404	26	千早赤阪村	26	△ 491	△ 158	32	東大阪市	26	△ 0.4	△ 0.2	32
泉大津市	27	75,091	68,842	27	大阪狭山市	27	△ 651	3,328	13	八尾市	27	△ 0.7	△ 0.3	33
藤井寺市	28	66,806	66,988	28	豊能町	28	△ 895	2,941	15	島本町	28	△ 0.7	1.2	25
泉南市	29	64,152	61,688	30	岬町	29	△ 1,023	△ 748	35	大阪狭山市	29	△ 1.1	6.1	11
高石市	30	62,260	64,295	29	柏原市	30	△ 1,076	3,484	12	高槻市	30	△ 1.3	0.7	28
阪南市	31	58,193	55,625	32	八尾市	31	△ 1,887	△ 904	37	柏原市	31	△ 1.3	4.5	13
大阪狭山市	32	56,996	57,647	31	松原市	32	△ 1,895	△ 1,462	39	堺市	32	△ 1.4	△ 0.6	34
四條畷市	33	55,136	53,763	33	高石市	33	△ 2,035	△ 791	36	松原市	33	△ 1.4	△ 1.1	37
熊取町	34	42,914	40,850	34	東大阪市	34	△ 2,138	△ 1,087	38	豊中市	34	△ 1.8	△ 2.7	42
美原町	35	37,618	37,391	35	摂津市	35	△ 2,265	△ 123	31	箕面市	35	△ 2.1	4.4	14
島本町	36	30,125	30,339	36	箕面市	36	△ 2,644	5,422	7	摂津市	36	△ 2.6	△ 0.1	31
豊能町	37	25,722	26,617	37	池田市	37	△ 2,777	75	29	池田市	37	△ 2.7	0.1	29
岬町	38	19,789	20,812	38	大阪市	38	△ 3,647	△ 21,380	44	寝屋川市	38	△ 3.0	0.7	26
忠岡町	39	17,509	17,098	39	高槻市	39	△ 4,832	2,403	17	高石市	39	△ 3.2	△ 1.2	38
河南町	40	17,341	15,913	40	門真市	40	△ 4,858	△ 1,791	40	守口市	40	△ 3.2	△ 0.0	30
太子町	41	14,190	12,872	42	守口市	41	△ 5,008	△ 66	30	豊能町	41	△ 3.4	12.4	3
能勢町	42	14,186	13,876	41	豊中市	42	△ 7,182	△ 10,929	43	門真市	42	△ 3.5	△ 1.3	39
千早赤阪村	43	6,968	7,459	43	寝屋川市	43	△ 7,637	1,919	21	岬町	43	△ 4.9	△ 3.5	43
田尻町	44	6,785	6,285	44	堺市	44	△ 10,975	△ 4,772	42	千早赤阪村	44	△ 6.6	△ 2.1	40
大阪府	—	8,805,081	8,797,268	—	大阪府	—	7,813	62,752	—	大阪府	—	0.1	0.7	—

※国勢調査による。

表2 大阪50キロ圏の距離帯別人口（平成12年（2000年））

中心からの距離 (km)	人口(1000人)	人口の割合(%)	人口密度(人/km ²)
50キロ圏計	16,567	(100.0)	2,209
0～10	4,260	(25.7)	10,806
10～20	3,868	(23.3)	4,872
20～30	2,712	(16.4)	2,815
30～40	3,141	(19.0)	1,401
40～50	2,586	(15.6)	833

※国勢調査による。

表3 大阪50キロ圏の距離帯別人口増減の推移

中心からの距離 (km)	人口増減数(1000人)					人口増減率(%)				
	昭和50 ～55年 (1975 ～80年)	昭和55 ～60年 (1980 ～85年)	昭和60 ～平成2年 (1985 ～90年)	平成2 ～7年 (1990 ～95年)	平成7 ～12年 (1995 ～00年)	昭和50 ～55年 (1975 ～80年)	昭和55 ～60年 (1980 ～85年)	昭和60 ～平成2年 (1985 ～90年)	平成2 ～7年 (1990 ～95年)	平成7 ～12年 (1995 ～00年)
50キロ圏計	543	469	319	139	218	3.6	3.0	2.0	0.9	1.3
0～10	△ 168	△ 20	△ 31	△ 46	△ 45	△ 3.7	△ 0.4	△ 0.7	△ 1.0	△ 1.0
10～20	247	134	38	△ 16	48	7.2	3.7	1.0	△ 0.4	1.3
20～30	181	131	106	7	128	8.4	5.6	4.3	0.3	5.0
30～40	215	168	134	77	61	8.6	6.2	4.7	2.6	2.0
40～50	60	56	72	117	26	2.7	2.4	3.1	4.8	1.0

※国勢調査による。

(2) 年齢別人口

ア 老年人口の割合

平成 12 年における本市の老年人口の割合は 12.9%で、大阪府の 14.9%より低く、北摂地域においても比較的低い（表 4）。

イ 年少人口の割合

平成 12 年における本市の年少人口の割合は 14.7%で、大阪府の 14.2%より高く、北摂地域においても比較的高い（表 4）。

(3) 人口密度

平成 12 年における本市の人口密度は 9,635 人/km²であり、北摂地域では豊中市に次いで高い（表 4）。

表 4 年齢別人口および人口密度（平成 12 年（2000 年））

		(単位:人、()は%)					
		年少人口 (0～14歳)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)	人口総数	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
北摂 地域	豊中市	55,438 (14.2)	279,194 (71.3)	56,598 (14.4)	391,726	36.6	10,703
	池田市	13,718 (13.5)	72,472 (71.4)	15,265 (15.0)	101,516	22.1	4,591
	吹田市	50,990 (14.7)	251,525 (72.3)	44,885 (12.9)	347,929	36.1	9,635
	高槻市	49,160 (13.8)	255,366 (71.4)	51,546 (14.4)	357,438	105.3	3,394
	茨木市	38,686 (14.8)	189,511 (72.7)	32,397 (12.4)	260,648	76.5	3,406
	箕面市	17,577 (14.1)	90,253 (72.3)	16,763 (13.4)	124,898	47.8	2,611
	摂津市	12,136 (14.3)	63,037 (74.1)	9,838 (11.6)	85,065	14.9	5,721
大阪府		1,249,955 (14.2)	6,224,186 (70.7)	1,315,213 (14.9)	8,805,081	4,651.7	1,893

注)人口密度=人口総数/面積

※国勢調査による。

※面積は国土地理院調べによる。

(4) 人口の転出入

平成 13 年における本市の転入者数は 23,203 人、転出者数は 23,261 人で、58 人転出超過となっている。なお、市人口に対する割合は転入者数も転出者数も共に 6.8%である。北摂地域の各都市と比較して、本市の転出入者数は多い。また、本市人口に占める転出入者の割合も高く、本市の特徴といえる（表 5）。なお、平成 14 年における転入者数を都道府県別にみると大阪府下から 44.1%、次いで兵庫県から 8.0%、東京都から 6.0%となっている（表 6）。

表5 転出入者と市人口に対する割合

(単位:人、()は%)

		転入者数	転出者数	増減数	人口
北摂 地域	豊中市	22,659 (5.8)	25,527 (6.5)	△ 2,868	390,051
	池田市	5,855 (5.8)	6,229 (6.2)	△ 374	100,339
	吹田市	23,203 (6.8)	23,261 (6.8)	△ 58	343,375
	高槻市	14,663 (4.1)	17,585 (5.0)	△ 2,922	354,804
	茨木市	14,591 (5.6)	15,684 (6.1)	△ 1,093	258,622
	箕面市	7,879 (6.5)	8,140 (6.7)	△ 261	121,988
	摂津市	5,068 (6.0)	5,675 (6.7)	△ 607	84,435

※住民基本台帳人口による。

注1) 転入者数・転出者数は平成13年1～12月の合計・人口は平成13年末日による。

表6 都道府県別転入者数

(単位:人、()内は%)

都道府県	総数	都道府県	総数
北海道	199 (0.9)	京都府	691 (3.2)
青森県	16 (0.1)	大阪府	9,670 (44.1)
岩手県	28 (0.1)	兵庫県	1,755 (8.0)
宮城県	109 (0.5)	奈良県	339 (1.5)
秋田県	10 (0.0)	和歌山県	168 (0.8)
山形県	6 (0.0)	鳥取県	63 (0.3)
福島県	34 (0.2)	島根県	62 (0.3)
茨城県	149 (0.7)	岡山県	327 (1.5)
栃木県	47 (0.2)	広島県	498 (2.3)
群馬県	32 (0.1)	山口県	155 (0.7)
埼玉県	555 (2.5)	徳島県	84 (0.4)
千葉県	551 (2.5)	香川県	270 (1.2)
東京都	1,313 (6.0)	愛媛県	204 (0.9)
神奈川県	804 (3.7)	高知県	91 (0.4)
新潟県	51 (0.2)	福岡県	687 (3.1)
富山県	102 (0.5)	佐賀県	48 (0.2)
石川県	169 (0.8)	長崎県	89 (0.4)
福井県	72 (0.3)	熊本県	109 (0.5)
山梨県	18 (0.1)	大分県	72 (0.3)
長野県	82 (0.4)	宮崎県	83 (0.4)
岐阜県	102 (0.5)	鹿児島県	127 (0.6)
静岡県	163 (0.7)	沖縄県	73 (0.3)
愛知県	719 (3.3)	国外	473 (2.2)
三重県	169 (0.8)	その他	1 (0.0)
滋賀県	293 (1.3)	総数	21,932 (100.0)

※住民基本台帳人口(平成14年)による。

(5) 人口の流出入

ア 昼間人口

平成 12 年における本市の昼間人口は 345, 909 人であり、昼間人口では常住人口の多い豊中市よりも多い。また、本市の昼間人口は、大阪府下では 4 位となっている（表 7）。

表7 大阪府下における昼間人口の割合

(単位:人)

市町村	常住人口	順位	流入人口	流出人口	流入超過人口	昼間人口	順位	昼間人口 指数
大阪市	2,595,394	1	532,066	260,384	271,682	3,664,414	1	141.2
堺市	790,499	2	115,139	174,504	△ 59,365	730,236	2	92.4
岸和田市	199,639	11	31,698	48,896	△ 17,198	182,141	11	91.2
豊中市	391,230	5	75,187	123,008	△ 47,821	342,924	5	87.7
池田市	101,455	21	26,230	34,309	△ 8,079	93,815	22	92.5
吹田市	347,400	7	113,134	114,588	△ 1,454	345,909	4	99.6
泉大津市	75,063	27	17,516	23,955	△ 6,439	68,552	26	91.3
高槻市	356,072	6	43,834	104,438	△ 60,604	295,565	7	83.0
貝塚市	88,405	23	15,128	24,980	△ 9,852	78,318	24	88.6
守口市	152,049	13	45,727	41,602	4,125	155,882	12	102.5
枚方市	401,182	4	51,192	117,753	△ 66,561	334,501	6	83.4
茨木市	260,594	9	63,749	81,002	△ 17,253	243,669	9	93.5
八尾市	274,173	8	56,408	72,654	△ 16,246	257,399	8	93.9
泉佐野市	96,042	22	30,950	23,929	7,021	102,943	19	107.2
富田林市	126,557	17	21,089	40,004	△ 18,915	107,808	17	85.2
寝屋川市	250,153	10	40,936	80,864	△ 39,928	211,006	10	84.4
河内長野市	121,005	19	12,942	40,107	△ 27,165	93,778	23	77.5
松原市	132,281	15	24,745	39,252	△ 14,507	117,440	16	88.8
大東市	128,832	16	38,660	37,667	993	130,564	15	101.3
和泉市	172,703	12	23,683	54,928	△ 31,245	141,000	14	81.6
箕面市	124,593	18	25,833	44,761	△ 18,928	105,681	18	84.8
柏原市	79,213	25	19,038	26,509	△ 7,471	71,479	25	90.2
羽曳野市	119,224	20	19,572	40,025	△ 20,453	98,650	20	82.7
門真市	135,301	14	50,180	38,607	11,573	146,387	13	108.2
摂津市	85,011	24	36,481	26,899	9,582	94,626	21	111.3
高石市	61,884	30	15,150	21,039	△ 5,889	56,569	29	91.4
藤井寺市	66,806	28	13,405	24,179	△ 10,774	55,885	30	83.7
東大阪市	514,042	3	132,879	111,889	20,990	534,681	3	104.0
泉南市	63,985	29	14,258	18,821	△ 4,563	59,266	27	92.6
四條畷市	55,081	33	9,368	20,713	△ 11,345	43,706	32	79.3
交野市	75,949	26	9,061	28,094	△ 19,033	57,145	28	75.2
大阪狭山市	56,745	32	11,683	20,994	△ 9,311	47,212	31	83.2
阪南市	58,124	31	4,477	19,739	△ 15,262	42,733	33	73.5
島本町	29,948	36	4,635	11,613	△ 6,978	22,915	36	76.5
豊能町	25,703	37	1,227	10,556	△ 9,329	16,310	39	63.5
能勢町	14,183	42	1,634	3,785	△ 2,151	12,016	41	84.7
忠岡町	17,349	39	5,181	5,680	△ 499	16,810	38	96.9
熊取町	42,897	34	5,594	16,889	△ 11,295	31,609	35	73.7
田尻町	6,783	44	3,430	2,378	1,052	7,834	43	115.5
岬町	19,707	38	2,019	6,005	△ 3,986	15,680	40	79.6
太子町	14,190	41	2,374	5,573	△ 3,199	11,263	42	79.4
河南町	17,341	40	6,130	6,099	31	17,339	37	100.0
千早赤阪村	6,968	43	873	2,709	△ 1,836	5,114	44	73.4
美原町	37,599	35	15,083	13,090	1,993	39,463	34	105.0

注1) 15歳未満の通学者を含まない。

※国勢調査(平成12年)による。

注2) 年齢不詳の者を含まない。

注3) 流入超過人口は流入人口から流出人口を引いた値である。

注4) 流入超過人口と常住人口の合計は必ずしも昼間人口と一致しない。

注5) 昼間人口指数は昼間人口と常住人口の比である。

イ 就業者数

本市における平成 12 年の就業者数は 165,865 人である。その 39.1%にあたる 64,853 人が市内で従業しており、60.9%にあたる 101,012 人が市外へ通勤している。北摂地域の各都市と比較して市内在勤率が低いことがわかる（表 8）。

流出先の内訳は、61,751 人の大阪市が最も多く、豊中市に 7,127 人、茨木市に 5,150 人が、摂津市に 4,173 人がそれぞれ流出している（図 1）。

表 8 就業者数

(単位:人、()は%)

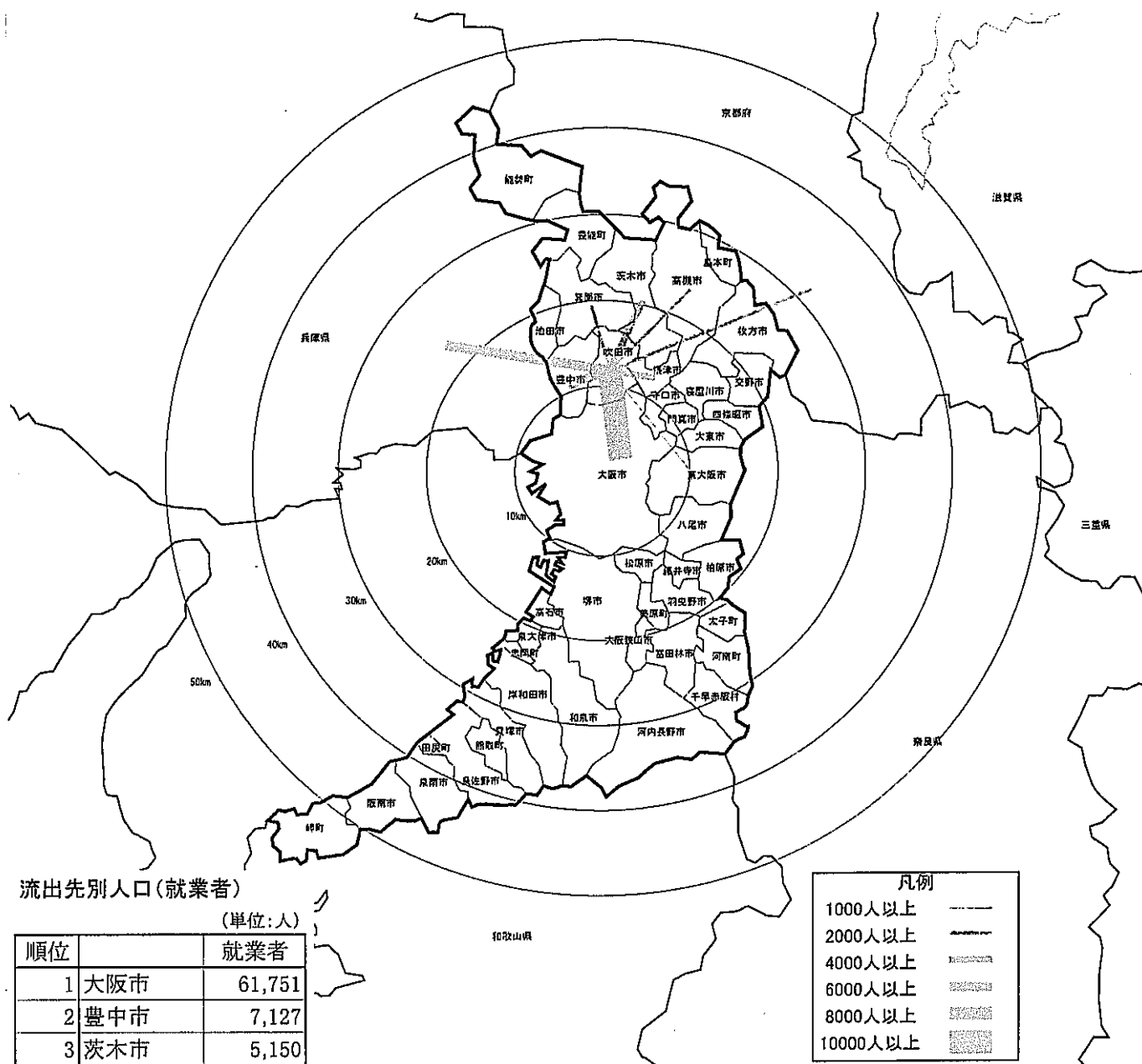
		就業者	うち自市区町村で 従業している 就業者数		うち他市区町村への 通勤者数	
北摂 地域	豊中市	187,763	78,714	(41.9)	109,049	(58.1)
	池田市	48,516	19,552	(40.3)	28,964	(59.7)
	吹田市	165,865	64,853	(39.1)	101,012	(60.9)
	高槻市	166,103	74,342	(44.8)	91,761	(55.2)
	茨木市	127,192	56,678	(44.6)	70,514	(55.4)
	箕面市	58,145	20,911	(36.0)	37,234	(64.0)
	摂津市	43,818	20,511	(46.8)	23,307	(53.2)

※国勢調査による。

※用語の定義

就業者：ある市に在住するもののうち、15 歳以上で自営業も含めた何らかの職業に従事している者。

図1 流出人口（就業者）



流出先別人口(就業者)

(单位:人)

順位		就業者
1	大阪市	61,751
2	豊中市	7,127
3	茨木市	5,150
4	摂津市	4,173
5	箕面市	2,719
6	高槻市	2,023
7	東大阪市	1,509
県外		
	兵庫県	6,308
	京都府	2,591

※国勢調査(平成12年)による。

ウ 従業者数

本市で働く従業者数をみると、平成12年では145,653人であり、そのうち55.5%にあたる80,800人が他市から通勤している。北摂地域の各都市と比較して市外から流入する通勤者が多い（表9）。

流入先の内訳は、17,410人の大阪市が最も多く、続いて豊中市から11,694人、茨木市から5,910人、箕面市から4,119人がそれぞれ流入している。周辺都市から通勤者を受け入れる業務地となっている（図2）。

表9 従業者数

(単位:人、()は%)

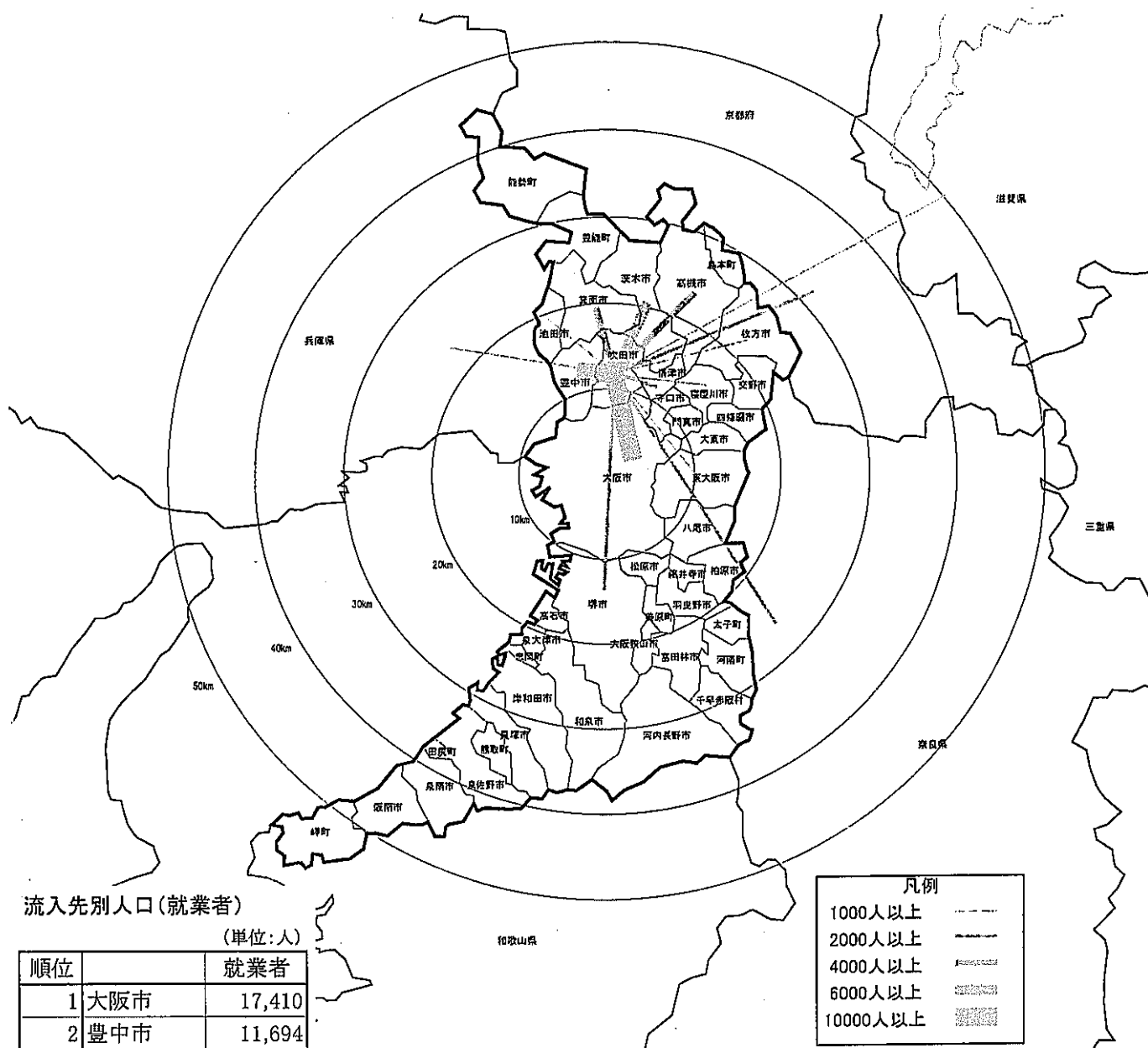
		従業地による就業者数	うち他市区町村からの通勤者数	
北摂 地域	豊中市	140,334	61,620	(43.9)
	池田市	41,898	22,346	(53.3)
	吹田市	145,653	80,800	(55.5)
	高槻市	111,561	37,219	(33.4)
	茨木市	107,565	50,887	(47.3)
	箕面市	42,166	21,255	(50.4)
	摂津市	53,443	32,932	(61.6)

※国勢調査による。

※用語の定義

従業者：ある市での15歳以上で自営業も含めた何らかの職業に従事している者、他市からの通勤者も含む。

図2 流入人口（就業者）



※国勢調査(平成12年)による。

エ 流出、流入から見た特性

通勤による人口の流出入の状況から都市の性格付けを行う場合、次のような類型が設定できる。

- a. 求心型都市：流入率が高く、流出率が小さい都市
- b. 住宅都市：流出率が高く、流入率が小さい都市
- c. 農村都市または独立都市：流出率、流入率がともに小さい都市
- d. 二重構造型都市：流出率と流入率がともに高い都市、すなわち自都市における常住就業者は他市へ流出し、自都市における従業者は他市から流入してくる傾向がより強い都市

本市の場合、通勤による流出および流入がともに多い都市であり、住宅都市の性格を備えながら、産業業務機能の求心性を持った二重構造型都市へと移行しているといえる。さらに、教育・研究機能の求心性をあわせ持った都市と特徴付けることができる（表10）。

表 10 流入・流出口及び昼間人口

(単位:人、昼間人口指数は単位なし)

年次	夜間 人口	流入人口			流出人口			増減人口			昼間 人口	昼間 人口 指数
		総数	通勤	通学	総数	通勤	通学	総数	通勤	通学		
平成2年 (1990年)	345,206	111,697	73,527	38,170	124,781	105,238	19,543	△ 13,084	△ 31,711	18,627	330,808	0.96
平成7年 (1995年)	341,361	118,925	82,871	36,054	124,165	107,357	16,808	△ 5,240	△ 24,486	19,246	335,886	0.98
平成12年 (2000年)	347,400	113,134	80,800	32,334	114,588	101,012	13,576	△ 1,454	△ 20,212	18,758	345,909	1.00

注)「昼間人口指数」は夜間人口=1としたときの昼間人口の比率

※国勢調査による。

3 産業構造

(1) 産業別従業者数

平成 12 年における本市内の事業所で働く産業別従業者数をみると、第 1 次産業は 263 人、第 2 次産業は 28,487 人、第 3 次産業は 113,435 人である。

従業者数の割合では、第 1 次産業が 0.2%、第 2 次産業が 19.6%、第 3 次産業が 77.9%である。大阪府や北摂地域の各都市と比較して第 1 次産業および第 2 次産業の割合は低く、第 3 次産業の割合は高くなっている（表 1 1）。

(2) 産業の現状と動向

ア 工業

(ア) 従業者数

平成 13 年における本市の従業者数は 7,170 人である。北摂地域の各都市と比較すると、豊中市、高槻市、茨木市の約半分である（表 1 2）。

(イ) 製造品出荷額

平成 13 年における本市の製造品出荷額は 2,851 億円である。北摂地域の各都市と比較すると、高槻市の約半分となっている（表 1 3）。

表 1 1 産業別従業者

(単位:人、()は%)

		従業者	第1次産業	第2次産業	第3次産業
北摂 地域	豊中市	140,334	373 (0.3)	36,458 (26.0)	99,436 (70.9)
	池田市	41,898	596 (1.4)	12,491 (29.8)	27,859 (66.5)
	吹田市	145,653	263 (0.2)	28,487 (19.6)	113,435 (77.9)
	高槻市	111,561	873 (0.8)	32,663 (29.3)	74,911 (67.1)
	茨木市	107,565	969 (0.9)	28,747 (26.7)	75,093 (69.8)
	箕面市	42,166	487 (1.2)	7,319 (17.4)	33,021 (78.3)
	摂津市	58,223	179 (0.3)	24,720 (42.5)	33,503 (57.5)
大阪府		4,621,881	22,491 (0.5)	1,363,164 (29.5)	3,160,608 (68.4)

※国勢調査(平成12年)による。

注1)人口10万人以下の都市(摂津市)はデータ入手の都合上平成7年(1995年)のデータを用いた

表 1 2 従業者数(工業)〔従業者4人以上〕

(単位:人)

		平成3年 (1991年)	平成8年 (1996年)	平成13年 (2001年)	平成3年から平成13 年までの増減率(%)
北摂 地域	豊中市	21,089	20,144	16,187	△ 23.2
	池田市	11,453	9,842	9,271	△ 19.1
	吹田市	9,300	8,441	7,170	△ 22.9
	高槻市	23,328	19,963	16,525	△ 29.2
	茨木市	19,923	18,632	13,800	△ 30.7
	箕面市	1,769	1,284	1,227	△ 30.6
	摂津市	14,686	13,518	12,844	△ 12.5
大阪府		859,561	741,817	614,077	△ 28.6

※工業統計調査による。

表 1 3 製造品出荷額(工業)〔従業者4人以上〕

(単位:億円)

		平成3年 (1991年)	平成8年 (1996年)	平成13年 (2001年)	平成3年から平成13 年までの増減率(%)
北摂 地域	豊中市	5,587	4,847	3,674	△ 34.2
	池田市	4,677	3,298	3,425	△ 26.8
	吹田市	3,602	3,355	2,851	△ 20.8
	高槻市	7,855	6,508	5,531	△ 29.6
	茨木市	8,701	8,095	5,169	△ 40.6
	箕面市	365	264	237	△ 35.1
	摂津市	4,282	3,915	3,588	△ 16.2
大阪府		253,871	209,896	172,784	△ 31.9

※工業統計調査による。

イ 商業

(ア) 年間販売額

平成 14 年における本市の年間販売額は 1,805,145 百万円で、そのうち卸売業が 1,520,300 百万円、小売業が 284,844 百万円であり、大部分を卸売業が占める。北摂地域の各都市の中で最大の年間販売額となっている（表 14）。

表 14 卸売・小売業の年間販売額

			平成3年 (1991年)	平成6年 (1994年)	平成9年 (1997年)	平成11年 (1999年)	平成14年 (2002年)	平成3年から平成14 年までの増減率 (%)
卸 売 業	北摂 地域	豊中市	674,533	687,042	645,138	563,445	484,268	△ 28.2
		池田市	87,787	87,475	84,672	80,177	64,883	△ 26.1
		吹田市	2,341,038	1,941,261	1,876,617	1,768,705	1,520,300	△ 35.1
		高槻市	293,688	299,271	325,245	313,878	300,271	2.2
		茨木市	906,320	998,094	1,131,455	1,032,291	908,131	0.2
		箕面市	394,605	401,228	397,485	417,018	316,078	△ 19.9
		摂津市	388,774	344,402	341,973	355,533	259,632	△ 33.2
	大阪府		86,521,915	74,780,392	71,965,516	66,183,718	53,414,365	△ 38.3
小 売 業	北摂 地域	豊中市	424,534	431,782	372,726	340,263	304,815	△ 28.2
		池田市	103,184	101,513	99,009	90,003	71,356	△ 30.8
		吹田市	310,702	317,441	340,870	305,694	284,844	△ 8.3
		高槻市	343,744	335,912	332,753	320,337	308,131	△ 10.4
		茨木市	241,790	252,360	264,389	251,190	220,724	△ 8.7
		箕面市	134,946	132,113	138,236	133,828	137,305	1.7
		摂津市	74,657	77,264	69,070	69,896	64,328	△ 13.8
	大阪府		11,595,596	10,763,640	109,144,758	10,418,589	9,649,377	△ 16.8
総 数	北摂 地域	豊中市	1,099,067	1,118,824	1,017,864	903,707	789,083	△ 28.2
		池田市	190,971	188,988	183,681	170,180	136,238	△ 28.7
		吹田市	2,651,740	2,258,702	2,217,487	2,074,400	1,805,145	△ 31.9
		高槻市	637,432	635,183	657,998	634,215	608,403	△ 4.6
		茨木市	1,148,111	1,250,454	1,395,844	1,283,481	1,128,855	△ 1.7
		箕面市	529,551	533,341	535,722	550,845	453,382	△ 14.4
		摂津市	463,431	421,666	411,043	425,430	323,960	△ 30.1
	大阪府		98,117,511	85,544,032	82,880,274	76,602,307	63,063,743	△ 35.7

※商業統計調査による。

(イ) 商店数

平成14年における本市の商店数は3,479店で、そのうち卸売業が1,307店、小売業が2,172店である。北摂地域の各都市の中で、豊中市に次いで多い商店数となっている(表15)。

表15 卸売・小売業の商店数

			(単位:店)					
			平成3年 (1991年)	平成6年 (1994年)	平成9年 (1997年)	平成11年 (1999年)	平成14年 (2002年)	平成3年から平成14 年までの増減率 (%)
卸売業	北摂 地域	豊中市	842	758	676	786	690	△ 18.1
		池田市	206	181	154	182	161	△ 21.8
		吹田市	1,446	1,314	1,240	1,412	1,307	△ 9.6
		高槻市	446	413	342	392	470	5.4
		茨木市	796	791	865	867	733	△ 7.9
		箕面市	282	292	250	283	264	△ 6.4
		摂津市	445	370	317	384	327	△ 26.5
	大阪府		51,241	48,012	42,836	45,434	39,476	△ 23.0
小売業	北摂 地域	豊中市	4,034	3,850	3,527	3,368	3,059	△ 24.2
		池田市	1,268	1,192	1,091	1,043	929	△ 26.7
		吹田市	2,537	2,492	2,349	2,310	2,172	△ 14.4
		高槻市	3,123	2,939	2,723	2,700	2,255	△ 27.8
		茨木市	2,135	2,148	2,138	2,078	1,867	△ 12.6
		箕面市	986	952	930	942	856	△ 13.2
		摂津市	859	805	741	707	610	△ 29.0
	大阪府		113,197	105,587	99,804	96,946	86,644	△ 23.5
総数	北摂 地域	豊中市	4,876	4,608	4,203	4,154	3,749	△ 23.1
		池田市	1,474	1,373	1,245	1,225	1,090	△ 26.1
		吹田市	3,983	3,806	3,589	3,722	3,479	△ 12.7
		高槻市	3,569	3,352	3,065	3,092	2,725	△ 23.6
		茨木市	2,931	2,939	3,003	2,945	2,600	△ 11.3
		箕面市	1,268	1,244	1,180	1,225	1,120	△ 11.7
		摂津市	1,304	1,175	1,058	1,091	937	△ 28.1
	大阪府		164,438	153,599	142,640	142,380	126,120	△ 23.3

※商業統計調査による。

(ウ) 従業者数

平成 14 年における本市の従業者数は 39,113 人で、そのうち卸売業が 20,994 人、小売業が 18,119 人であり、卸売業が小売業よりも 3,000 人程度多い。北摂地域の各都市の中で、最も多い従業者数となっている（表 16）。

表 16 卸売・小売業の従業者数

(単位:人)

			平成3年 (1991年)	平成6年 (1994年)	平成9年 (1997年)	平成11年 (1999年)	平成14年 (2002年)	平成3年から平成14 年までの増減率 (%)
卸 売 業	北摂 地域	豊中市	7,479	7,820	7,163	7,399	6,703	△ 10.4
		池田市	1,504	1,574	1,290	1,470	1,281	△ 14.8
		吹田市	21,932	22,663	20,383	21,187	20,994	△ 4.3
		高槻市	3,934	4,265	3,436	3,757	4,115	4.6
		茨木市	9,141	9,897	10,797	10,860	10,242	12.0
		箕面市	6,515	6,489	6,910	6,863	6,126	△ 6.0
		摂津市	4,745	4,057	3,691	3,769	3,783	△ 20.3
	大阪府		613,127	582,934	532,795	550,003	499,810	△ 18.5
小 売 業	北摂 地域	豊中市	19,145	19,700	18,680	20,415	19,359	1.1
		池田市	5,419	5,761	5,408	6,114	5,384	△ 0.6
		吹田市	13,893	16,414	16,038	18,059	18,119	30.4
		高槻市	16,431	17,711	15,892	19,312	19,248	17.1
		茨木市	11,205	12,119	13,362	14,537	14,477	29.2
		箕面市	5,285	5,971	6,299	7,319	7,319	38.5
		摂津市	3,837	4,253	3,751	4,456	3,986	3.9
	大阪府		509,820	520,126	511,480	558,579	549,692	7.8
総 数	北摂 地域	豊中市	26,624	27,520	25,843	27,814	26,062	△ 2.1
		池田市	6,923	7,335	6,698	7,584	6,665	△ 3.7
		吹田市	35,825	39,077	36,421	39,246	39,113	9.2
		高槻市	20,365	21,976	19,328	23,069	23,363	14.7
		茨木市	20,346	22,016	24,159	25,397	24,719	21.5
		箕面市	11,800	12,460	13,209	14,182	13,445	13.9
		摂津市	8,582	8,310	7,442	8,225	7,769	△ 9.5
	大阪府		1,122,947	1,103,060	1,044,275	1,108,582	1,049,502	△ 6.5

※商業統計調査による。

(I) 売場面積

平成 14 年における本市の小売業の売場面積は 223,820m²である（表 17）。

表 17 小売業の売場面積

			(単位: m ²)					
			平成3年 (1991年)	平成6年 (1994年)	平成9年 (1997年)	平成11年 (1999年)	平成14年 (2002年)	平成3年から平成14 年までの増減率 (%)
小 売 業	北摂 地域	豊中市	256,891	240,807	243,270	234,173	251,872	△ 2.0
		池田市	78,047	77,841	78,030	71,965	66,314	△ 15.0
		吹田市	168,221	215,967	209,131	223,148	223,820	33.1
		高槻市	247,087	268,937	262,399	273,563	259,590	5.1
		茨木市	151,769	169,552	178,995	174,239	219,355	44.5
		箕面市	62,899	78,517	78,609	85,396	111,404	77.1
		摂津市	39,147	51,395	40,319	50,565	54,972	40.4
	大阪府		6,780,539	7,210,548	7,411,147	7,492,457	7,898,898	16.5

※商業統計調査による。

4 その他の特徴

(1) 通学者数

本市には、大阪大学、関西大学、大阪学院大学、千里金蘭大学の4つの大学が立地している。平成12年においては、学生数が府下で最も多い(表18)。また、本市から流出する通学者は13,576人であり、流出先は4,132人の大阪市が最も多い。本市に流入する通学者は32,334人であり、流入先は6,541人の大阪市が最も多くなっている(表10(13ページ)、図3、図4)。

表18 大阪府下の大学数・学生数

市町村	大 学				短 期 大 学			市人口 (人)	市人口に 対する学 生の割合 (%)
	国立校数 (校)	公立校数 (校)	私立校数 (校)	学生数 (人)	公立校数 (校)	私立校数 (校)	学生数 (人)		
大阪市	1	1	4	5,036	1	10	4,328	2,598,774	0.36
堺市	-	2	2	1,807	-	3	746	792,018	0.32
豊中市	1	-	1	1,445	-	1	300	391,726	0.45
吹田市	1	-	2	9,028	-	2	1,710	347,929	3.09
高槻市	-	-	3	740	-	1	535	357,438	0.36
守口市	-	-	2	568	-	1	578	152,298	0.75
枚方市	-	-	5	2,804	-	1	1,820	402,563	1.15
茨木市	-	-	2	1,937	-	2	560	260,648	0.96
八尾市	-	-	1	400	-	-	-	274,777	0.15
富田林市	-	-	1	480	-	2	620	126,558	0.87
寝屋川市	-	-	2	2,513	-	1	160	250,806	1.07
河内長野市	-	-	-	-	-	1	220	121,008	0.18
松原市	-	-	1	1,155	-	-	-	132,562	0.87
大東市	-	-	1	2,276	-	2	514	128,917	2.16
和泉市	-	-	1	1,515	-	-	-	172,974	0.88
箕面市	1	-	-	885	-	3	1,120	124,898	1.61
柏原市	1	-	1	1,130	-	1	450	79,227	1.99
羽曳野市	-	1	1	684	1	1	790	119,246	1.24
摂津市	-	-	-	-	-	1	435	85,065	0.51
藤井寺市	-	-	-	-	-	1	340	66,806	0.51
東大阪市	-	-	3	5,817	-	3	624	515,094	1.25
大阪狭山市	-	-	2	555	-	-	-	56,996	0.97

注1) 公立は府立・市立を含む。

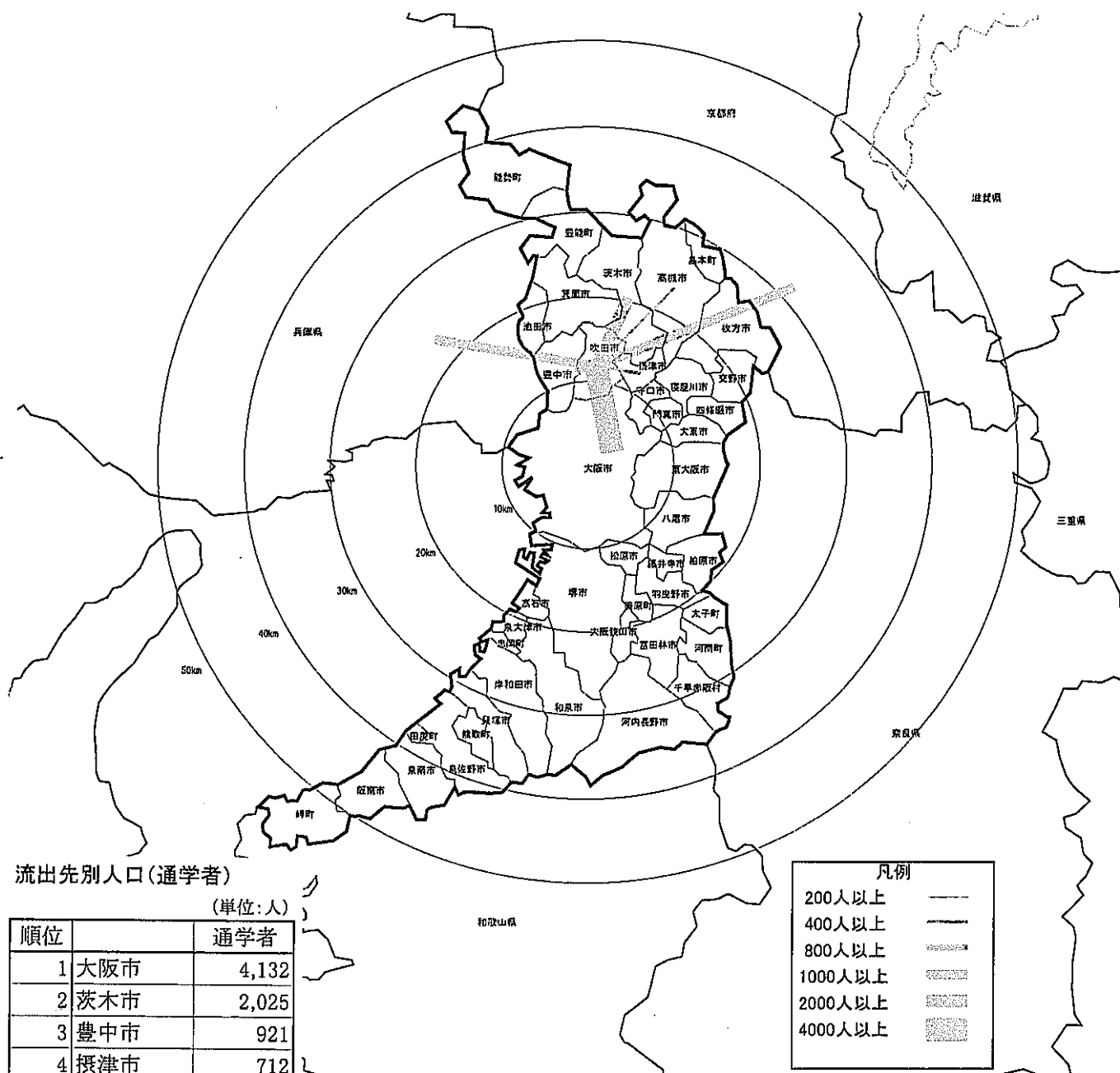
注2) 学生数は入学定員である。

注3) 市人口に対する学生の割合＝(大学学生数＋短期大学学生数)／市人口

※学校数・学生数は全国学校総覧(2001年版)(平成12年)による。

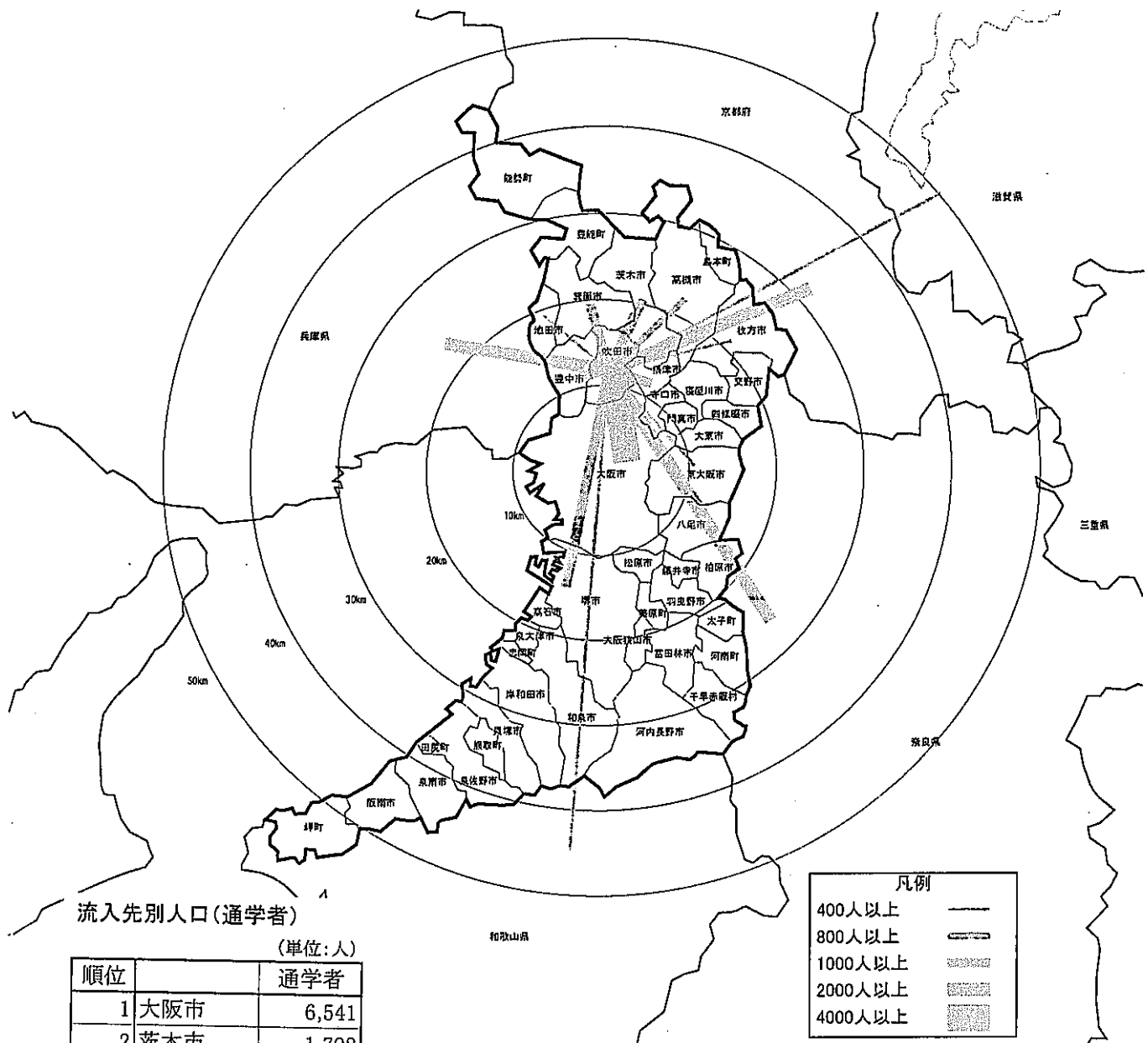
※市人口は国勢調査(平成12年)による。

図3 流出人口（通学）



※国勢調査(平成12年)による。

図4 流入人口（通学）



※国勢調査(平成12年)による。

(2) 観光客数

平成12年度における北大阪地域の年間の総観光客数は1,374万人であり、大阪府下では大阪市に次いで観光客数が多い地域である。大阪府外からの観光客の多くは大阪市が吸引しているものの、北大阪地域は大阪市に次いで府外の観光客を多く吸引している。

北大阪での主な観光施設をみると、その多くが本市にある万博記念公園内に立地しており、本市は北大阪地域の中で集客力がある市と考えられる。

表19 集客力と地域の人口

	総観光客数 (万人)	府外 観光客数 (万人)	常住人口 (万人)	昼間人口 (万人)	総観光客数 ／常住人口	総観光客数 ／昼間人口
大阪市	9,783	5,305	260	366	37.6	26.7
北大阪	1,374	367	175	157	7.9	8.8
東部大阪	752	139	207	194	3.6	3.9
南河内	338	41	70	59	4.8	5.7
泉州	1,176	197	169	153	7.0	7.7
大阪府全体	13,423	6,049	879	931	15.3	14.4

※大阪府観光統計調査（平成12年度版）による。
※常住人口・昼間人口は国勢調査（平成12年）による。

注) 地域区分

大阪市…大阪市

北大阪地域…能勢町、豊能町、池田市、箕面市、茨木市、高槻市、島本町、豊中市、吹田市、摂津市

東大阪地域…枚方市、寝屋川市、交野市、守口市、門真市、四條畷市、大東市、東大阪市、八尾市、柏原市

南河内地域…松原市、藤井寺市、美原町、羽曳野市、大阪狭山市、富田林市、太子町、河内町、千早赤阪村、河内長野市

泉州地域…堺市、高石市、泉大津市、忠岡町、和泉市、岸和田市、貝塚市、熊取町、泉佐野市、田尻町、泉南市、阪南市、岬町

表20 北大阪での集客力の多い主な観光施設

分類	観光施設
旧跡等	日本庭園(万博公園)
	池田城址
芸術・文化	国立民族学博物館
	国立国際美術館
自然	自然文化園
	高槻森林観光センター
	淀川河川公園(鳥飼上地区)
	服部緑地公園
	五月山動物園
	明治の森箕面国定公園
スポーツ	万博競技場
レジャー・集客	エキスポランド
産業観光	大阪ガス生活誕生館DILIPA
	サントリー(嵯峨山崎蒸留所)
	大阪国際空港(展望デッキ)

※大阪府観光統計調査（平成12年度版）による。

注1) 平成12年度調査で施設利用者数が判明している集客力が高いポイントを抜粋、整理。

注2) 観光施設については、年間利用者数が5万人以上もしくは、特定時期の利用者数が月間5,000人以上となる施設を調査対象とすることを原則としている。

5 まとめ

(1) 人口の郊外への移動

大阪都市圏において人口は10 km圏域で減少傾向が続いており、平成7年から12年では20～30 km圏域で大きく人口増加が進んだ。10～20 km圏域に位置する本市においては、住宅供給が一定進み、人口が増加した。しかし中心部から人口が郊外へと移っている状況があり、少子・高齢化とあいまって、人口の減少が予測される。

(2) 業務集積都市

本市は高速自動車道や鉄道網から便利な立地にあるだけでなく、新幹線駅や空港にも近いなど、広域的に便利な交通条件を有している。また、その地理的条件からも大阪市の都市発展に大きく影響を受けた形で発展してきた。

大阪市と隣接することから、江坂駅周辺などでは商業業務施設の立地が進むとともに、神崎川や安威川沿いに工場などが立地し、業務機能が集積した地域を構成している。

第3次産業の集積と周辺都市からの労働力人口の受け入れは、北大阪地域での都心に近い性格を発揮しているといえる。今後も大阪都市圏の業務集積都市として、立地特性に応じた機能を発揮することが考えられる。

(3) 二重構造型都市

上記(2)で述べたように、本市は業務集積都市としての性格を持っているが、このような業務集積は全市的な展開ではなく、江坂駅周辺やJR吹田駅周辺などに限られている。

本市では、日本で最初の大規模ニュータウンである千里ニュータウンや阪急千里線沿線の千里山地区などにおいて良好な住宅が多く供給され、北大阪を代表する住宅都市としても発展してきた。しかし近年は人口減少、少子・高齢化、ライフスタイルの多様化など住環境を取り巻く問題は複雑化してきている。

特に千里ニュータウンでは社宅の建替え等により環境の変化も生じている。市民のニーズや将来にわたる地域の持続的な発展を見据えながら、大阪都心に労働力を供給する住宅地として、快適な住環境を維持し続けることが求められている。

(4) 文化・学術・研究拠点としての役割

本市には4つの大学が立地し、多くの学生を受け入れている。また、国立循環器病センター、大阪バイオサイエンス研究所、生物分子工学研究所、国立民族学博物館など高度な学術・研究機関や医療機関、文化施設が立地している。これらの施設の集積は本市の特徴であり、これらの集積を生かし、大阪都市圏における中核的な文化・学術・研究拠点としての役割を発揮することが求められている。